

導入事例

液晶ディスプレイ
LCD-M4K552XDB
miniPC
MPC-LVZ3PA

建設業のイメージを変えて、若い世代にとって魅力的な職場に！ 手軽なのに効果抜群、ディスプレイとminiPCでできるサイネージ



「建設業の古いイメージから脱却し、若い世代が『働きたい!』と思える職場にしたい」、そんな思いから始まった横山興業株式会社のDX。普段の業務からオフィス環境、情報発信など、会社全体の「デジタル化」を図る取り組みの中で、アイオアのデジタルサイネージが導入されました。55型ディスプレイとminiPC、サイネージアプリ「時間割看板2」を組み合わせることで、高品質なサイネージが簡単に実現します。今回の導入を統括した常務取締役の神大輔様、製品選定や運用方針の策定を行った経営管理部・品質保証部次長の岩間玉美様のお二人に、詳しくお話を伺いました。

導入商品



4K対応&広視野角ADSパネル採用
55型(可視領域54.6型)
ワイド液晶ディスプレイ
LCD-M4K552XDB2



Windows 10
IoT Enterprise搭載
miniPC
MPC-LVZ3PA



サイネージの表示を簡単管理!
サイネージアプリ
「時間割看板2」

昔ながらの「ポスターべたべた」をやめて、オフィスのイメージアップを!

—— サイネージ導入はオフィスのイメージアップ戦略の一環とのことですが、どのような経緯があるのでしょうか。

神様: 建設業の現場といえば、安全啓発のポスターがべたべたと貼ってあるイメージが強いと思いますが、そういった業界特有の古いイメージから脱却したかったのです。残念ながら建設業そのもののイメージがよいとは言えず、若者の就職先として敬遠されています。これは業界全体の課題ですが、当社でも従来のイメージを払しょくするためにできる限りのことをやってみようというつもりです。その一環として、「働きたくなるようなオフィス作り」に取り組んでいます。

岩間様: サイネージに掲示しているのは、今まで壁に貼っていた紙の啓発ポスターの電子版、社内広報誌「YOKOYAMA PRESS」(電子版)、その他お知らせなどで、主に若手社員がCanvaなどのツールを使ってサイズ調整・新規作成しています。常時100程度程度のコンテンツが繰り返し表示されており、掲示物のペーパーレスは大きく進みました。



—— 毎日の運用はどのように行っているのでしょうか。

岩間様: 基本的に自動で稼働していますので、毎日行うようなことはないんです。導入時にサイネージアプリ「時間割看板2」でスケジュール設定を行ってしまえば、あとは作ったコンテンツをNASの所定のフォルダに格納するだけです。フォルダから削除すれば、それもすぐに反映されます。電源オン/オフ、アプリの立ち上げはBIOSの設定で行っていますので、始業と同時に電源を入れる必要もありません。

神様: USBメモリにコンテンツを保存して、スタンドアロンで運用する方法もありますが、やはりネットワーク内のフォルダから読み込んだほうがスマートですね。いちいちUSBメモリを抜き差しせずすみ、すべて自席からコントロールできます。また、各現場(拠点)と本社はVPNでつながっていますから、同じディスプレイとminiPCのセットをそれぞれの現場に設置すれば、本社・現場で同じ内容を表示させることもできます。これは将来的に検討したいアイデアです。

「社内の空気は確実に変わってきています」サイネージが現場の意識改革に寄与

—— どのようなシーンでサイネージの効果を実感されますか。

岩間様: とにかくオフィスが明るくきれいになりました。サイネージというとサービス業ではよく見かけますが、社内向けに設置するというイメージは実はもっていなかったんですね。今回、思い切って挑戦してみたて本当によかったです。社員からは好評ですし、来客の反応もいいですね。同業の方は、皆さん「うちも真似しよう」と仰います。

神様: 若い世代の社員は紙よりも電子化されたコンテンツのほうが伝わりやすいようで、サイネージは非常に馴染みがよいですね。一方で上の世代は変えることに抵抗があったようですが、実際に運用を始めてみたら、皆あっさり「うん、こっちのほうがいいね」と納得していました(笑) 採用に関しては、応募者の年代が下がってきていることを実感しています。Webサイト、オフィスの内装など、ほかにも様々な取り組みを行っており、サイネージもその一端を担っています。多角的な取り組みが功を奏し、成果につながったと考えています

—— 今後のビジョンなどがありましたら教えてください。

神様: :社内での情報共有だけでなく、社外への発信にも力を入れていきたいです。まずは私たちから、どんな仕事をしているのか積極的に発信することで業界理解を促進し、最終的には人材不足の解消に貢献できればと思っています。今回、ビジュアルの力を改めて実感しました。サイネージに関してはさらにコンテンツを増強し、幅広く活用していきたいと考えています。

取材にご協力いただいたご担当者様



横山興業株式会社
常務取締役

神 大輔 様



横山興業株式会社
経営管理部・品質保証部
次長

岩間 玉美 様



CLIENT DATA

導入企業 /
横山興業株式会社
所在地 /
北海道北斗市本郷208番地3
設立 /
昭和47年(昭和26年創業)